

医療・福祉施設で問題となる微生物と標準予防策



清掃などでいつも清潔にしようとは思っているけれど、
日常的な施設内の感染対策は何をすればいいの？

どんなに気を付けていても、施設内の細菌やウイルス^{ゼロ}にはできないじゃ。
問題になることが多い微生物と日常的な感染対策のための標準予防策について
一緒に見ていこう！

押さえて
おきたい！

今回の
ポイント

- ☒ 標準予防策は感染症の有無や病態に関わらず、
すべての人に適用する

▶ 医療・福祉施設で問題となる微生物

医療・福祉施設で問題となる細菌やウイルスについて、効果のある消毒薬や特徴は次の通りです。

細菌

MRSA
(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)

MRSA
© SARAYA CO., LTD.

- 主な分布** ヒトや動物の皮膚・鼻腔、環境
- 消毒薬** 全ての消毒薬が有効
- 特徴**
- 抗菌薬に対して耐性を示す
 - 臨床で分離される黄色ブドウ球菌の内、約6割がMRSAといわれる

レジオネラ属菌



Legionella pneumophila
© SARAYA CO., LTD.

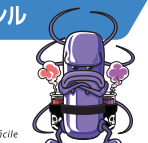
- 主な分布** 河川や土壌、加湿器、循環式浴槽などの湿潤環境
- 消毒薬** 中水準消毒薬以上が有効
- 特徴**
- レジオネラ属菌を含むエアロゾルや塵埃の吸引により発症
 - ヒト-ヒト感染はない

セラチア菌



Serratia marcescens
© SARAYA CO., LTD.

- 主な分布** 河川の水や土壌、流し場などの湿潤環境
ヒトでは腸内、口腔などの常在菌
- 消毒薬** 全ての消毒薬が有効
(消毒薬に抵抗性を占める菌株あり)
- 特徴**
- 赤色色素(プロギジオシン)を産出
 - カテーテル関連感染や消毒薬汚染による院内感染が問題になっている

クロストリディオイデス・
ディフィシル

Clostridioides difficile
© SARAYA CO., LTD.

- 主な分布** ヒトや動物の腸内・土壌
- 消毒薬** 次亜塩素酸ナトリウム、
高水準消毒薬以上が有効
- 特徴**
- 下痢や血便などの症状を呈する偽膜性大腸炎の原因菌
 - 芽胞と呼ばれる厚い皮膜を形成する

ウイルス

インフルエンザ
ウイルス

Influenza virus
© SARAYA CO., LTD.

- エンベロープ** あり
- 消毒薬** 中水準消毒薬以上が有効
- 特徴**
- ワクチン接種後、約5か月間有効
 - 数年～数十年ごとに大変異し、世界的大流行(pandemic)を引き起こす

コロナウイルス



SARS-CoV-2
© SARAYA CO., LTD.

- エンベロープ** あり
- 消毒薬** 中水準消毒薬以上が有効
※低水準消毒薬も一部有効
- 特徴**
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のほか、風邪やSARS(重症急性呼吸器症候群)、MERS(中東呼吸器症候群)の原因ウイルス

ノロウイルス



Norovirus
© SARAYA CO., LTD.

- エンベロープ** なし
- 消毒薬** 中水準消毒薬以上
(効きにくいため消毒方法は注意が必要)
- 特徴**
- 冬場に流行し、感染力が非常に高い
 - 感染者の便や吐しゃ物からの二次感染に注意が必要

ロタウイルス



Rotavirus
© SARAYA CO., LTD.

- エンベロープ** なし
- 消毒薬** 中水準消毒薬以上
(効きにくいため消毒方法は注意が必要)
- 特徴**
- 春先に流行する感染性胃腸炎を引き起こし、0～2歳を中心に流行
 - 白い下痢や嘔吐などの症状がある

▶ 標準予防策(スタンダードプリコーション)

標準予防策とは湿性生体物質(血液、体液、汗を除く分泌物、排せつ物、損傷のある皮膚、粘膜などの湿り気を帯びた物質)を感染の可能性があるものとして取り扱うという考えを基本にした対策です。

感染症の有無や病態に関わらず、すべての人に標準予防策を適用し、感染対策を行いましょう。

✓ 手指衛生

▶ 利用者様に触れる前後

▶ 清潔作業の前、不潔作業の後 など

① 目に見える汚れがある場合
石けんと流水で手洗い



② 目に見える汚れがない場合
アルコール手指消毒剤で手指消毒



手指衛生の詳しい
タイミングはこちら



※調理従事者は石けんと流水による手洗い後、アルコール消毒を推奨(大量調理施設衛生管理マニュアル)
※アルコールが効きにくい微生物も存在します

✓ 咳エチケット

▶ 咳、鼻水などの症状がある時

咳やくしゃみによる飛沫を周囲に飛散させないように、マスクの着用やティッシュを使って、口や鼻をおさえましょう。



手に付着した
ウイルスが
感染源に...



飛沫などが手
についた際は
手指衛生を!

✓ 個人防護具

▶ 汚染を受ける可能性がある時

再着用はせずケアや作業ごと、対象者ごとに交換しましょう。
また着用の前後は必ず手指衛生を行います。



※閲覧には福祉ナビの
会員登録が必要です

商品 紹介



個人防護具

シールドマスク

湿性生体物質から目を守る
アイシールドとサージカルマス
クが一体化しました。
これ一枚で目・鼻・口の粘膜
を感染源から防御します。

1ケース入数: 25枚×6

個人防護具

リユースガウン リユースキャップ

撥水加工(フッ素フリー)により
300回再使用ができます。
着心地の良いポリエステル100%です。

規格: フリーサイズ
1ケース入数: 10



【参考文献】情報入手日: 2024/6/1時点

- SARAYA 医療関連感染で問題となる主な微生物
- 厚生労働省老健局 介護現場における感染対策の手引き 第3版

ManGo

食品衛生管理のマネジメントシステム

HACCPに沿った衛生管理を正確に・効率的に行うために

医療・
福祉施設の
厨房向け

